

【専門分野】

科目名	母性看護援助論	講師名	岡山医療センター助産師A(18) 岡山医療センター助産師B(12)	学 年	2	履 修 期	第2学期
単 位	1単位						
時間数	30時間						
授業概要	妊娠、分娩、産褥、新生児の正常経過および異常についての看護を学ぶ。						
授業科目目標	1. 正常な経過をたどる妊婦・産婦・褥婦、新生児の看護について理解できる。 2. 周産期における異常な経過をたどる妊婦・産婦・褥婦、新生児の看護について理解できる。						
授業計画	<p>1～2回：正常経過の妊婦の看護</p> <p>1) 妊婦の心理・社会的特徴、妊婦健康診査</p> <p>2) マイナートラブル、日常生活指導、保健相談</p> <p>3) 親になるための準備教育、バースプラン</p> <p>4) 妊娠・出産包括支援</p> <p>3～4回：正常経過の産婦の看護</p> <p>1) 分娩第1～4期における産婦と家族への看護</p> <p>2) 安全・安楽のニード、基本的ニードに対する看護</p> <p>3) 連続的胎児心拍数モニタリングと分娩経過図（パルトグラム）</p> <p>5～6回：正常経過の褥婦の看護</p> <p>1) 産褥経過、進行性変化及び退行性変化</p> <p>2) 褥婦と家族の心理・社会的特徴（母親への適応過程：ルービン）</p> <p>3) 親子関係確立に向けた援助</p> <p>4) 育児技術習得に向けた援助</p> <p>5) 子育て支援に関する施策の活用</p> <p>7～8回：正常経過の新生児の看護</p> <p>1) 新生児の生理・アセスメント（マススクリーニング含む）</p> <p>2) 出生直後から退院までの看護</p> <p>9～10回：異常妊娠の看護（切迫流早産、妊娠高血圧症候群など）</p> <p>11回：異常分娩の看護（前期破水、分娩遷延、分娩時の異常出血など）</p> <p>12～13回：異常産褥の看護（産褥熱、乳腺炎、多胎、産後精神障害など）</p> <p>14回：異常新生児の看護 （低出生体重児、黄疸、母子保健法に関する施策活用など）</p> <p>15回：終了試験</p>						講義
評価方法	筆記試験						
テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 母性看護学〔2〕母性看護学各論，医学書院。 2. 平澤美恵子・村上睦子：写真でわかる母性看護技術，インターメディカ。						
参考書	1. 櫛引美代子：カラー写真で学ぶ周産期の看護技術，医歯薬出版株式会社。						
学生へのメッセージ	<p>母性看護学概論で学んだ母性看護の理念や、母子の愛着形成（ボウルビー及びクラウスとケネルの理論）を活用しながら正常経過や異常経過にある妊産、産褥、褥婦の看護および新生児の看護を学びます。既習学習である母性健康論を復習しアセスメント力に繋げると共に、母性や父性に関しても考える場としましょう。</p> <p>【関連科目】解剖生理学Ⅳ、小児看護学概論、母性看護学概論、母性健康論</p>						